

'92 ~ '93

積雪期の

# 山行報告書

Sinshu Univ. Alpine Club



冬・眠・中

vs  
信州大学山岳会

モ く い

10-シ

P2 富士山. ハヤ岳 (小同心クラック, 石尊稜)

3 ハヤ岳 (阿弥院北稜, シウゴ沢), 戸隠 P3

4~6 板戸岳南尾根

7 ハヤ岳 (シウゴ沢), 上高地

8~10 ハヤ岳 (地獄谷, 旭岳東稜, リルネ東稜)

11~12 ネパール ロゴシ東峰

12 十石小屋往復

13 ハヤ岳 (シウゴ沢, 赤岳主稜, 中山尾根), 戸隠 P1

14~16 北鎌尾根

17 ハヤ岳 (阿弥院南稜, 石尊稜)

18~19 常念 ~ 槍ヶ岳

20 蓼科山, 湯原往復, 徳本峠

21 鳳凰三山

22~24 鹿島 東尾根

24 戸隠 P1

25 富士山 (御殿場口)

26 富士山 (富士宮口), 瑞牆山

27~29 源治郎尾根 (クラウニ隊 剣岳集中合宿)

30 ゴールデンウィーク合宿 (天狗尾根)

富士山 1/14. 15 L. 桶垣 河西, 橋口, 高木, 吉沢, 流

1/4 10:00 5合目 ~ 15:30 頂上 IS. ①

雪はクラストしてアイゼンがよくきく。頂上は風が強く、空気が薄い

1/6 7:30 T.S. 発 ~ 12:00 5合目 ①

9合目あたりまで用心のためザイルを5Pほど出すが全く問題なし

## 1/4 岳面 (小同心77...7, 石尊稜)

12/5

見 笹森進也, 長谷川哲也

美濃戸口 (~ 名古屋) 5:30 着. → 美濃戸山荘 8:30-45 ①

→ 赤岳鉱泉 9:55 ~ 10:40 晴ト → 小同心77...7人.

取付 12:20 (先行待了) → 開始 12:45

< 小同心77...7 >

1P 35m. (長谷川).

20m < 5m までエッジが. 35 < 5m あざした方が better

2P 40m (笹森).

細かくスラックホールドをひらけば OK.

→ 終了 14:20 → 硫黄岳経由 → 赤岳鉱泉 16:30 晴ト

12/6

赤岳鉱泉 6:20 go → 取付 7:05 → 開始 7:25

→ < 石尊稜ルート > 見 田尻, 長谷川.

下部. ボロボロ. プロテクションは事もない.

上部岩壁に至る途中に小ピークがある。この登りが  
すごく悪かった。

取付待了. 石壁に沢を7分ほど OK.

→ 終了 11:20 → 鉱泉 12:40-1350 → 美濃戸山荘 14:50.  
(終日快晴).

12/8 八ヶ岳 阿弥陀北稜 天気快晴

9:05 行者小屋 — 9:50 ジャンクションパーク —

岩場 左のルンゼにスタカットIP 50m — 11:35 阿弥陀岳

— 13:10 赤岳 — 地蔵尾根 — 14:20 行者小屋.

向題なし. 雪が少なかつた. (L 伴野, 博99)

12/6 ジョウゴ沢 L 伴野, 松本 曇りの晴

6:35 赤岳金線 B.C — 8:40 大滝 — 11:00 碓氷

11:50 B.C

氷はまだあまり発達しておらず F1, F2 は高まつた. F3 で練習がてらにザイルを出して登った. 大滝ではト70°-70°をかけた.

12/12 戸隠 P3 稜 L 植垣, 伴野 雪の5晴れ

7:10 品沢高原 — 7:50 取付 — 12:30 タマズ岩壁 —

タマズおくれ上の5m程の岩と草付(大系という何の向題もない岩稜)が登れない(人工からフリー, ボルトなし. 11ヶ所あり)

— 15:30 敗退決定 — 15:40 下降開始 — 3Pケンシ

— 18:10 取付 — 18:20 品沢高原.

○ タマズ岩壁の手前の雪壁にスタカットIP 50m. 雪が安定しておらず、ランナーはとれなかつた.

○ タマズ岩壁 大系では岩壁の右を登れとあるが、仲間ランニングなので左側のツルシを登った. スタカットIP 50m.

抜戸岳 南尾根 兼岩, 長谷川 (聡)

(7+5)

12/24 ⊗ 7:15 新穂高温泉 — ⊗ 9:50 ルンゼ取付

— ⊗ 14:15 コル2 T.S (T<sub>1</sub>)

大系のルンゼが分からず、右往左往した後、ルンゼに取付くが、滝が出てきて、3つ越した後左の尾根に逃げる。最後にまた、右のルンゼに入り、抜けたところ大コル2であった。ラセルがきつい。ワカンで、腰まで。

12/25 ⊙ 7:10 T.S — ⊙ 12:30 P3 — ⊙ 14:20 コル5 上部 1850m 地点 (T<sub>2</sub>)

P2は、岩壁部を右手より巻く。P3への登りの岩壁部は、残置Fixを使う。(かなりいいレオト) 雪落としに時間がかかる。

12/26 ⊙ 7:10 T.S — ⊙ 12:20 穴毛槍 (P5) — ⊙ 14:20 コル6 T.S (T<sub>3</sub>)

穴毛槍直下までアセンでなくワカンでいくが、ハイマツがうるさく登りづらい。穴毛槍直下の右手の尾根と合流する地点は、両側ともルンゼが切れこみ、雪崩要注意。

穴毛槍の肩よりは、リッジ(雪きのこたらしけ)を避け、ルンゼ状を下降後、左手の尾根に戻る。(35m+35m) 雪崩要注意。

今日は、もっと進めると思ったが、深い雪、ハイマツのため、雪落とし、ラセルとトッポが空身で交代でやっていたため、なかなか進まない。

12/27 ⊙ 7:10 T.S — ⊙ 12:00 南壁のコル T.S ⇨ 偵察トバース 2P (T<sub>4</sub>)

ここから先は、ハイマツがうるさくなく、傾斜も緩いので、進みやすい。P8の下りで、キョフの通過に40m サイルを出す。雪崩そうである。南壁のコルを切り崩して、テントを張る。

2P (35+40) 水平にトバースして偵察する。いかにも雪崩そうな地形である。所々、残置Fixがある。その先は、大きなルンゼが、深く切れこみ、上方に伸びている。南壁の正面は、黒々と雪を付けず、40mは、完全な人工となり、トッポが空身で、ローがユマールで行かないと無理そう。

12/28 沈殿, 昨日, 低気圧が九州西部に発生し, 気温が上昇する。朝から, 湿雪が降る。

12/29 沈殿, 昨夜からの雪で, テントが埋まりかける。低気圧が抜けて, 弱い冬型となるが, 雪が降っている。

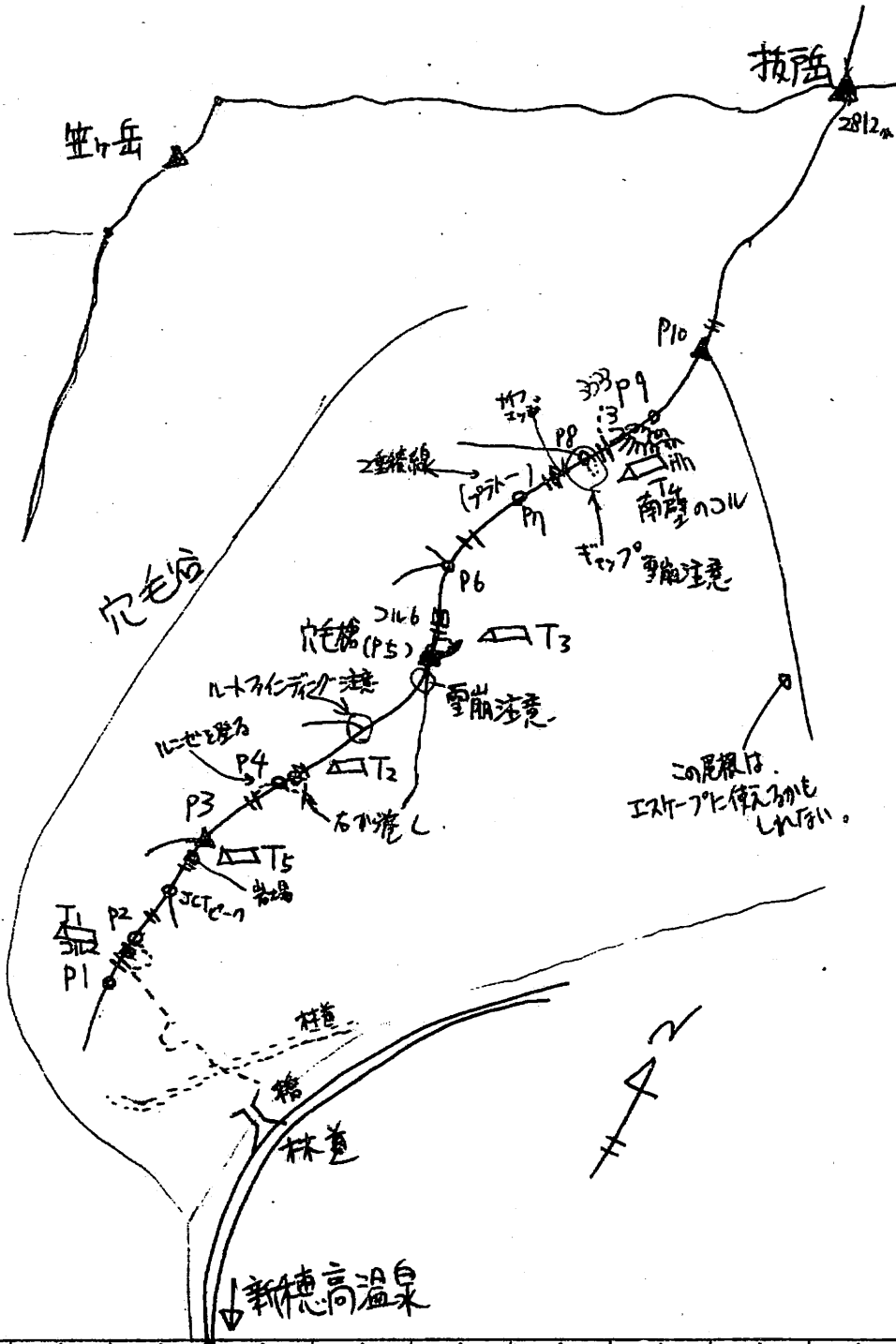
12/30 ⑦7:00 T.P. ——— ⑩15:00 P3 T.P. (Ts)  
 予備日は, あと3日残っていたが, 天気回復が, 1/1以降になりそう。雪崩が, トラス先のルンゼ, 抜戸岳直下で予想される。奥側3日(南壁を抜けて, 抜戸岳, 笠岳, 玄岩の尾根)という今後の予定も, ラッセルのきつさを考えると4日かかりそうなことを考え, 退却とする。  
 P8で40m スタカウト。穴毛槍の登りは, キワ雪のリップシを崩しながら忠実につめる。下り, 雪崩危険地帯で, 40m + 10m スタカウト。その後, 視界が悪いため, 右手の穴毛谷に伸びる支尾根に迷わされる。P4の登り, 20m スタカウト。P4の下りで, 1本午前のルンゼを下ってしまう。40m + 40m スタカウト。

12/31 ⑦7:00 T.P. ——— ⑩12:00 新練高温泉

P3の下りで懸垂20m。JOL2で, 4人パーティーと出会うお互い驚く, その人たちのトラスをたどって, P1の尾根をいかに下り, その後, 樹林帯を強引に下る。

敗退となってしまうが, 嫌というほど, 2人でラッセルし, きのこと崩し, 久しぶりに充実した山行だった。新練高温泉の露天風呂で, 自分でも, 頭がくらくらする臭い体をきれいにし, ビールを飲むと, つらさも忘れて, 次は, どこへ行こうかと考えていた。(兼岩)

# 抜岳南尾根



14日 伴野、高橋、三木

1/14 ⊗

7:20 美濃P.D — 10:00 赤岳鉱泉 B.C

11:00 ~ 13:00 ジョウゴ沢 F272

1/15 ⊗

7:10 ~ 11:30 ジョウゴ沢 大滝72

13:00 B.C — 15:00 美濃P.D

天気が悪くてジョウゴ沢へ行けなかった。

雨も降って最悪。

## ○ 上高地 雪中キャンプ

松本 博多 楠田 (部外者)

1/30 松本 0440 ⊗ — 0710 ⊗ 坂巻温泉 0735 ⊗  
— 0800 ⊗ 釜トン入口 — 0935 ⊗ 大正池 T.B.

ウワサに聞いていた釜トンは、意外にあ。エリ抜けてしまった。  
しかし意外に傾斜が強く、上高地側の半分位は電気がなく、  
怖かった。

1/31 起 0800 ⊗ — 発 1000 ⊗

明神方面へ出発しようとしたとたん、地吹雪になり、  
はやく温泉に入ろう、ということになる。

— 1200 ⊗ 坂巻温泉

今回は、ほとんど歩かず、景色もなかったが、のんびりとした  
スノーキャンプで、非常に楽しかった。[まにはこういう山行も  
いい。

(博多)



## 八ヶ岳 地獄谷

日時：1993. 1. 16. (

日程：1993. 1. 15—18. (17下山)

15日. 権限沢右俣をつめる..

ほとんど滝は雪にまうる。

15mの滝付近からテグリあり。

○ ナメ滝にせ下部10mの滝で  
アイスクライミング。

12:00—15:15.

15:00ころから雪解がひんぱら、

逃げ帰り。

この滝は4級+。(酒井)。

16日 旭岳東稜。(2次パーティ) → ヴィルネ東稜

17日. 牛首山 西西稜 末端付近  
ハニゼからの12~3m ~~程度~~の高さの滝にて  
アイスクライミング

メンバー . JAC-TOKAI

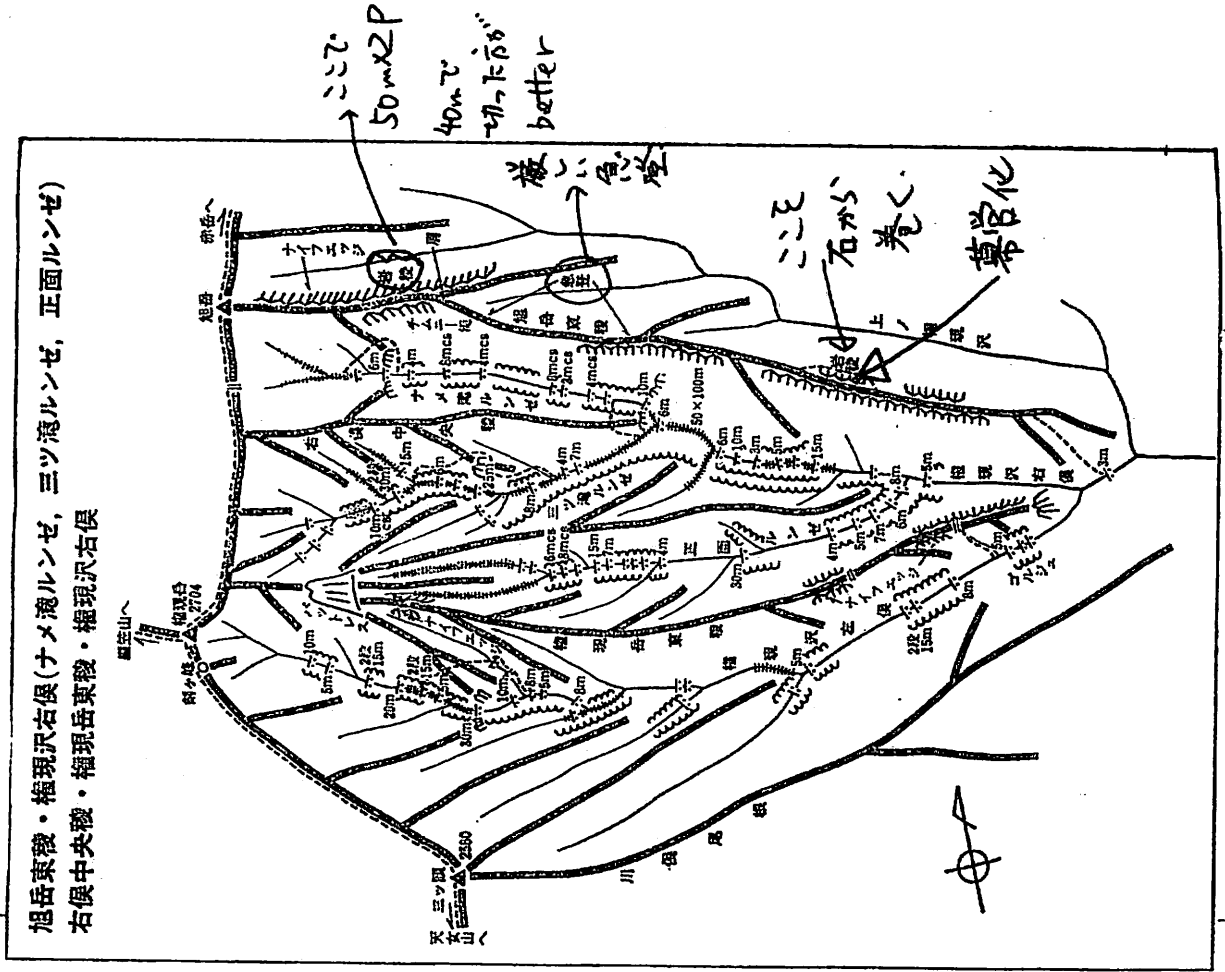
徳島, 酒井, 阿部, 宮坂, 鈴木, 長谷川

以上15日入山

夏目, 有置, 中川

16日入山,

概要： 大系に「岩稜」と記述のある所を、右から巻く。  
 (旭岳 稜) 急登と記した所は、ツェルが「製糖」にまつい。  
 霜に着くと、ここから岩場となり、ガイル必要、  
 50m x 2ピッチ。リッジ状の部分を行く。  
 そのあとは、牛リッジを注意しながらコンテで少し進む。  
 こゝでも1ピッチ出ると、ピークに着く。  
 5:45分取り付き → 15:10 ピーク  
 メンバー： 徳島, 酒井, 有富, 長谷川



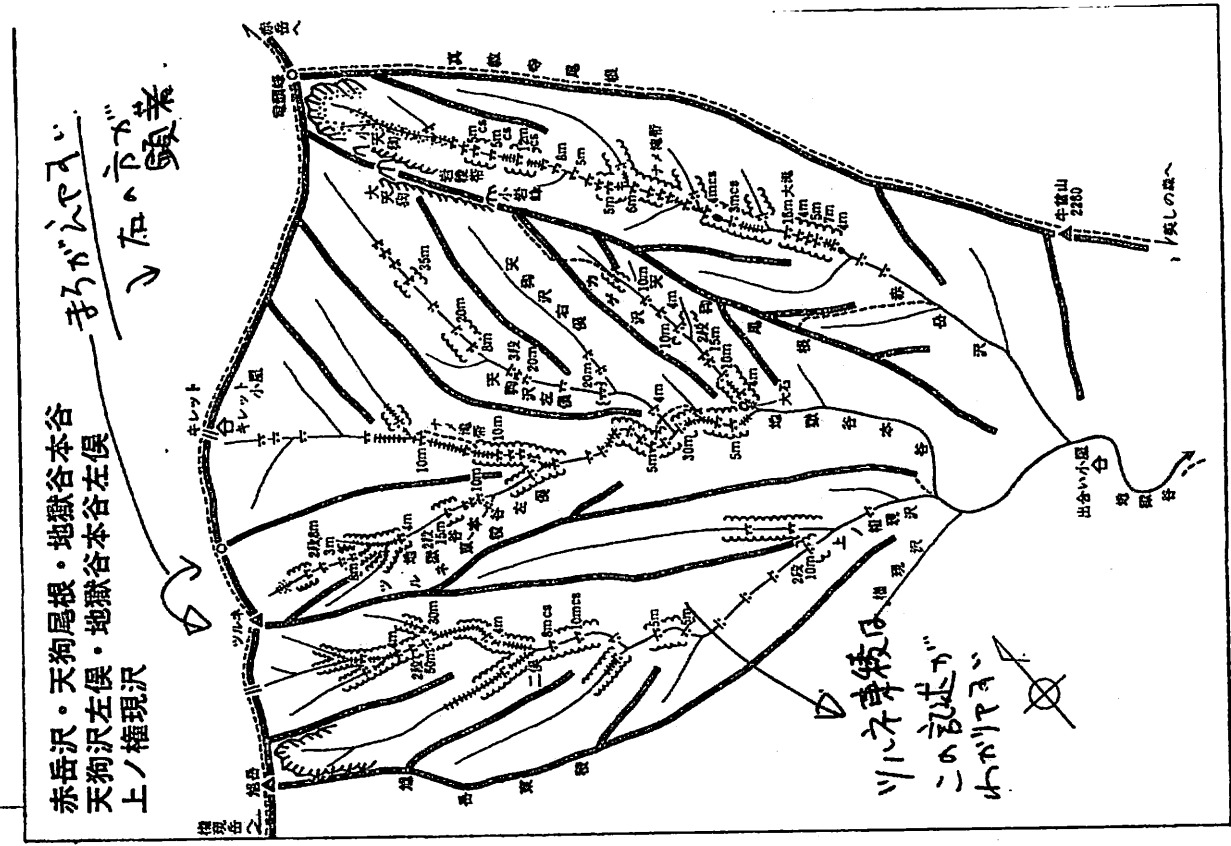
概要：ツルネ東後。

先ず、下り口だが、わかりにくい。大糸32Pの記述が  
もっともわかりやすい。ツルネから北側のOFPの所に  
まろがえて行き、ひきかえし、下降することにした。  
下りだしてすぐの地獄谷本谷左保にのびる尾根に  
まろがえて入らないよう注意。

その後、左側に入り、ゆく。まろがえ下り。

ツルネ東後でガイルと出る必要はない。

15:45 下降開始 → 18:40 出合い小屋。



ネパール ロブジエ東峰 (6119m)

メンバー 長谷川 聡貞(08), 伴野 達也(Ⅲ)

今回の遠征は 6100m 付近 (second peak; notch 手前の  
ピーク) までで 登頂はできませんでした。登攀は我々  
2名とガイド1名の計3名で行いました。

2/18 カトマンズ ⇒ ルクラ — パクティン (2652m)

19 パクティン — ナムチェバザール (3440m)

20, 21 ナムチェバザールで 装備・食料を揃える

22 ナムチェ — タンボチェ (3867m)

23 タンボチェ — ペリチェ (4243m)

24 ペリチェ 5000m まで順路

25 ペリチェ — トルクラ (4620m)

26 トルクラ — ロブジエ B.C (5000m)

27 { 長谷川とガイドで 5300m まで荷上げ  
伴野は体調悪く stay

28 { 長谷川とガイドで 5700m までルートワーク  
伴野は前日に続き体調悪く stay

3/1 雪で氷解

2 C<sub>1</sub> (5500m) 建設

3 5900m (大クレバス) までルートワーク

4 6000m (ジャンクション・ピーク) までルートワーク

5 B.C へ下り休養

6 C<sub>1</sub> E 5700m まで上げ A.C (5700m) 建設

3/7 アタックが失敗。6100m (second peak) まで。  
false summit までには fix O-7° 300m 全て使用したため  
スタカットでいくが 3人 というのもあり 時間切れで敗退。

8 B.C へ

9 ロブジエ B.C ——— パンボチエ

10 パンボチエ ——— ナムチエ

11 ナムチエ ——— ルクラ

12 ルクラ  $\implies$  カトマンス

初めの高所で体調が悪く長谷川エムに迷惑を  
かけてしまいました。(記 伴野)

### 十石小屋往復

トダ。三木。広谷。松本

3/26 7:00 白骨温泉発。  
7:30 登山口  
13:00 十石小屋着 ◎

3/27 7:00 発 8:00 湯沢平  
9:00 白骨温泉着 ①

八ヶ岳 2/11 ~ 2/14 L. 橋口, 内田(OB) 高橋, 安保, 吉沢  
 2/11 美濃戸口 8:30 ~ 赤岳鉱泉 10:30 ~ 沼ヶ沢登山口 ~ B.C. 500  
 沼ヶ沢で7-10や、2人の方が墜落した。いたろう。

2/12 210-ティ-行動  
 A. L. 内田 高橋, 安保 (赤岳主峰)  
 B.C. 発 6:40 ~ 取付 9:00 ~ 登山開始 9:30 ~ 2P ~ 頂上小屋 12:00  
 この日は吹雪いて顔を凍らせてしまった

2/13 210-ティ-行動  
 A. L. 橋口, 高橋 (中山屋根)  
 B.C. 発 6:20 ◎ ~ 第一岩峰基部 7:30 ① ~ 5P ~ 13:00 りょう線  
 ~ 14:30 B.C. ① ~ 沼ヶ沢大滝 ~ 17:20 B.C. ①  
 中山屋根はやほりやすめしかたがとれなりに充実感は大い

2/14 下山

2/12 B 10-ティ  
 L. 橋口, 吉沢 (赤岳主峰)  
 B.C. 発 6:40 取付 9:00 登山開始 9:15 ~ 2P ~ 頂上小屋 12:30  
 B.C. 着 12:30 吉沢はこの日下山

戸隠 P1 尾根	11-ダ-兼岩, 三木
2/18 6:30	楠川 ◎
7:00	天狗原 崩
8:00	天狗原
18:00	P1 尾根 11-ダ-セ址 T.S ◎
2/19 6:30	TS 発 ◎
9:30	おりのと山に近 小雪 雪壁 ①Eに30分に時間がかかりそうなので
16:00	下山
(16:30	楠川 ◎ 橋)

## 北鎌尾根.

見. 宮坂仁. 笹森進也. 長后川哲也  
(三重)

計画 11日+9日予定.

2/22. 遠征準備のため入山がふくゆる. この日は終日雪が降る.  
七倉 15:10 ⊗ → ダム 16:00 → 17:00 尊宮.

2/22 6:30 go → 名無小屋 9:30-11:00 → 晴嵐荘 14:00  
ひじいラッセルで. 雪かきが進まない. テポ上げに上がり. 16:00 戻り  
この日も終日雪.

2/23. 晴嵐荘 8:00 → 14:00 晴嵐荘.  
テポ上げとラッセル. この日の終日雪が降る. 上部は吹雪.

2/24. 晴嵐荘 8:00 → 中東沢出合い 13:00-13:40 テポする  
→ 晴嵐荘 15:00

この日も雪. P2と中東沢出合いにたじろつく.  
この日は笹森の体調が悪く. 宮坂と2人で行動

2/25. 雪が降りつづき. 笹森の体調も best でないため 沈殿

2/26. 7:30 go → 中東沢出合い 8:30-9:45 晴+



→ 11:00に3 長谷川が渡渉に失敗。  
大乾燥大会。

2/27. TS発 7:00 晴小 → 4天出合い 7:30-40-くもり  
→ 取り付 8:30-50 高雲リ → ガイル2P →  
→ P2の肩 13:00-20 → P3手前エIV 15:00 くもり。

P2の肩の手前は急傾面。タイルア、72で登る(荷が重いのを)  
ガイルも出した方がよい。

2/28. 激しい雪のための沈没

3/1. 7:30 → 偵察. 9:00の天気回車 → 11:00 出発。

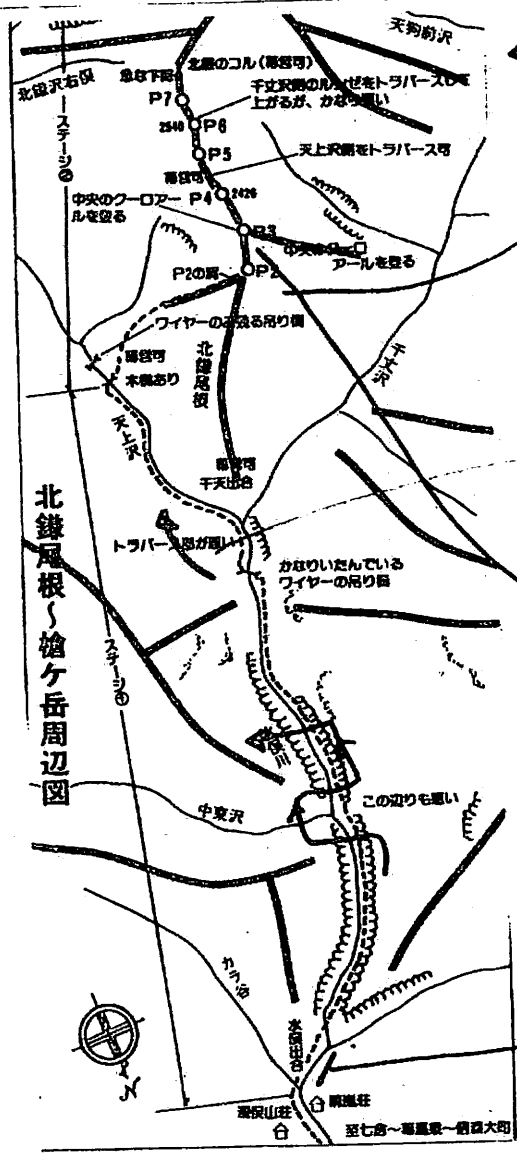
P5手前のエIV TS. 14:00 → P5トラス 偵察 2 15:00

P5のトラスは雪崩そう、危険性が高い。  
それにしては天気が悪く、雪が降りつづく。

3/2. 朝、MSRが故障。12ルにマンドリンのこか下針がハマり  
抜けない。廃退決定。

6:45 出 → 取り付 9:15-30 雪 → 名無小屋 14:00-15:30  
→ 七倉 20:15 → 松本 23:15.





<ルートメモ>

P2の肩へ出子まで、かなり急傾斜

千立沢谷に至る。高巻いた部分の橋を渡ってから、その先のルンゼ牧場を登る。

P3. 中央のクロープに登り。左に寄り、フュシエツカミ。安定した場所に出る。そこから急登、ジ状部分へ木登り。

この部分は、急な雪壁とトラバース。すべったが、10m位下のサトドボツ。注意。

とにかく、ラッセル、ラッセルと言った山行だった。天候や状態が悪いと諦めずかまもなくまでにならない。  
厳冬期の厳しさを、思い知らせた山行だった。

by 久 伊藤

八ヶ岳 阿弥陀南稜・石尊稜

L. 豊田, 松本

- 3/8 学林バス停 6:30 ⊗  
旭小屋 8:40 ○ ラッセルなし  
立場山 10:50 ◎  
無名峰-PI間 12:00 ⊗ 雪洞を掘り露営  
(2500m付近)

時間的には抜けたが、天気が悪かったのでやめる。  
ラッセルは深いところをみぞくらい。雪洞はなかなか快適  
だった。

- 3/9 TS 6:30 ○  
阿弥陀岳 8:00 - 8:25 ○  
行者小屋 9:40 - 10:15 ○ デポ  
石尊稜取付 11:30 ○  
主稜線 16:30 - 16:40 ◎  
行者小屋 17:44 - 18:20 ⊗  
学林バス停 21:00 ①

南稜はノーギールで抜ける。

石尊稜はギール7ピッチとコンテで抜ける。最後の  
かぶりぎみのチムニーが核心。1時間かかった。

# 春の縦走合宿 (常念岳 - 檜ヶ岳)

員 長谷川哲也, 田尻英秋, 三木隆一, 吉沢裕広

3/10

三俣まで。とうてい入らず。

8:30 go → 大平原 10:45 ~ 11:15 ①

→ 登山道がみつからず。ヤブにで。 → TS 15:30 雪。

3/11

TS 7:30 発 → 12:30 ~ 50 前常念岳 (朝) 12:00 暗く

→ 常念小屋 16:15 晴く。

※ 大陸から寒気が流れ込ん。稜線上。雪は吹雪と化して。スピードアップが期待できそう。

3/12

7:30 出発 雪 → 東大天井岳 8:25 吹雪 →  
大天荘 10:00 吹雪。

※ 朝から荒天。田尻さんの体調も good ではない。  
大天荘にてストップ。

3/13

大天荘 7:15 → 西岳 12:15 ~ 30 晴く。 → 水俣乗越 13:00  
→ 14:00 幕営開始。

※ 大天井小屋からの登り通しがすく悪い。  
大天井岳の下りは急峻な傾斜。アイゼンワークに注意。  
水俣乗越への下りは。雪道とすりには。危険を覚悟して  
右行け。西岳から水俣方向にのびる  
小エを尾根を下降。 fix 16:45。

3/14. 7:15 出発 晴 → 榎平 11:45 快晴  
 → 2-7 12:00 ~ 12:20 快晴 → 榎 12:40 - 13:05  
 → 大喰岳西尾根 エスケープ → 榎平小屋 15:50. 快+

東鎌は雪がべったり。夏のハシゴはほとんど埋もれていた。  
 東鎌尾根上では IP 付く。IP fix を出したのみ。

榎。絶頂からの下りで。IP 付く。

中崎尾根は雪。氷の張り出しが大きく、榎平へ下降する部分も。  
 雪の状態によっては雪崩する可能性が大い。大喰岳西尾根も  
 一ヶ所悪い所があるが、榎からの下降は、さる方がよっぽどいい。

3/15. 榎平小屋 6:10 雪 → 滝谷出合 6:30 雪  
 → 白出沢出合 7:15 - 30 雪 → 穂高平小屋 8:10 - 20 雪  
 → 新穂高温泉 9:25 雪。

昨日のドレーカーを打てず、朝から雪が降りつく。  
 榎平で下降してよかった。

高山と回って 富山経由で松本へ帰った。22:00 過ぎに帰った。

東鎌をこえ「サカ」と抜けたのは 天気が良かったからだ。  
 3月は直派で、1度悪くすれば ずいぶん始末が悪くなる。

北鎌も同様で、2日と抜けた人に 榎平小屋へ来た。一体、  
 7人隊の北鎌は何だったんだろう。

by J. Hasegawa

## 蓼科山

L. 松本, 広谷, 尾関

3/23 登山口 (スズラン峠) 7:30 ○

蓼科山山頂 10:00 ○ トレースあり

3/24 山頂 8:15 ◎

登山口 9:30 ◎

山頂は冬期小屋あり

## 湯俣往復 松本

4/10 七倉 6:00 ①

湯俣 12:30 ①

噴湯丘往復 湯俣 15:30 ①

4/11 湯俣 10:10 ◎

七倉 15:00 ◎

クロスカントリースキーはいて快適。

秘峽の温泉は気持ちいいよ。

## 徳本峠 松本

4/25 島々谷ゲート 4:55 ◎

岩魚留小屋 6:50-7:00 ◎

(峠往復 ⊗)

岩魚留小屋 12:40-12:50 ⊗

ゲート 15:00 ①

峠付近で道を失う。しばらく小屋を探すが  
11:00になったので、自分のトレースを忠実にたどって  
引き返す。雪はかなり多いでしょう。

○ 南ア。鳳凰三山～早川尾根、仙丈岳

△ 高橋 寛和、緒方 敬士 (西朋登高会)、博多

3/25 甲府 0500 ① — 0540 ① 夜叉神峠 —  
1300 ① 南御室小屋

3/26 小屋砦 0600 ② — 観音岳 1000 ② —  
1400 ② 白鳳峠 T.S.

赤坂沢頭～高嶺は少しやせた尾根。

3/27 T.S. 砦 0600 ① — 早川屋根小屋 1015 ① — 1330 ②  
2550 付近 T.S.

3/28 T.S. 砦 0600 ① — 0800 Pサヨ峰 — 0900 ②  
栗沢山 — 1020 ② 1山水峠  
1030 ~ 1230 雪割 — 1330 ② 北沢峠 B.C.

3/29 台風並みの強風、吹雪のため、沈殿。

3/30 B.C. 砦 0600 ① — 1130 ① 仙丈岳 1230 ① —  
1530 ② B.C.

前日の降雪のため、小仙丈付近の斜面がナゲしそうなので、  
1P fix を張る。

3/31 T.S. 砦 0600 ② — 1030 ② 戸台

コース自体は難しい所はしもないが、肝心な所で全て暗れ  
くれ、槍に行けなかつたウツパンもかなりぼろしくれた。

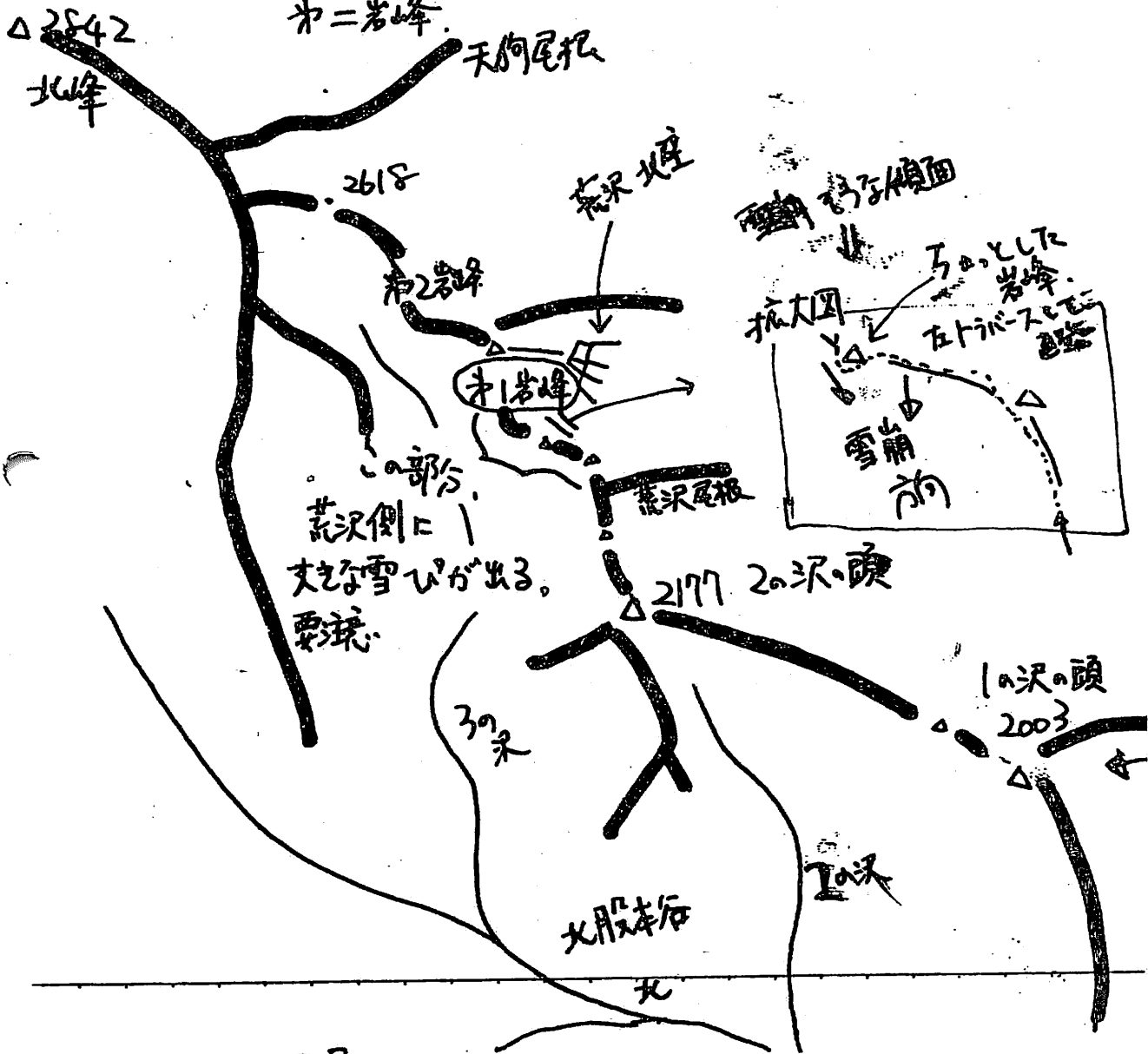
(博多)

# 鹿島槍 北峰 東尾根.

日時：1993.3.27 ~ 28. びー7. 2+1の予定  
(東尾根 ~ 赤岩尾根)

メンバー：長谷川. 有富 (JAC-Tokai). 高橋

注意事項：荒沢側の雪、  
一岩峰の前後の雪崩地形  
二岩峰.



カ一岩峰：真正面のろよとしたルニセ状の所に付いた雪壁を登る。  
1P50m, 2P5mにて終了。

(2V級程)

カ二岩峰：これは少し難厄介。40m1Pで終了 ↓ 少しかぶっている。お寺の  
バンドを1-2m左へトバースしてから、4mニ一杖を登る。  
ロープがたわいているが、あまり信用しない方がいい。今日は、  
大糸には少しダイレクトルニセ側を正直から直登する例も  
挙げられているが、ピンもボロく、使わっていない。

荒沢側の雪底：荒沢尾根の合流点、付近から、かなり大きく張り出している。  
上部からみると、よくわかる。要注意。

ベースキャンプを作って上部アタックをわらうつもり。2の沢頭にB.C.を  
置くのがベストだと思った。

記録： 3/27 スキ-場との分岐 7:30~~0~~ ○  
大谷原 7:45 ①  
1の沢頭 10:15 ①  
2の沢頭 10:35 ①

カ一岩峰 取付13:40 — 開始45 — 終了14:20 ①  
カ二岩峰 : 14:40 : 15:05 ①

北峰 15:45 - 50 ①

北峰~南峰のBS. 16:25 ① 雪洞を掘る。



3/28      21V    6:45 go ○  
              冷池    7:30-50 ①  
              分岐点 4<sub>2</sub>-→脱着場 11:30 ②

天気がよくて、装備が軽ければ1日で終わるしすが、  
 矢張り、一級のパリエ-シュルートとして後付けしておきたい。

by J. Hasegawa

戸隠-P1 尾根 ④ L. 高橋, 三木, 安保

4/10 8:20 上楠川~9:20 天狗原~約1時間登って引き返す④~上楠川

11:30 ②

雪の積もりが早く樹の状態が良くなるおかげなので早く引返して帰った

富士山 (御殿場口から) part I

長谷川哲也. 宇保晃

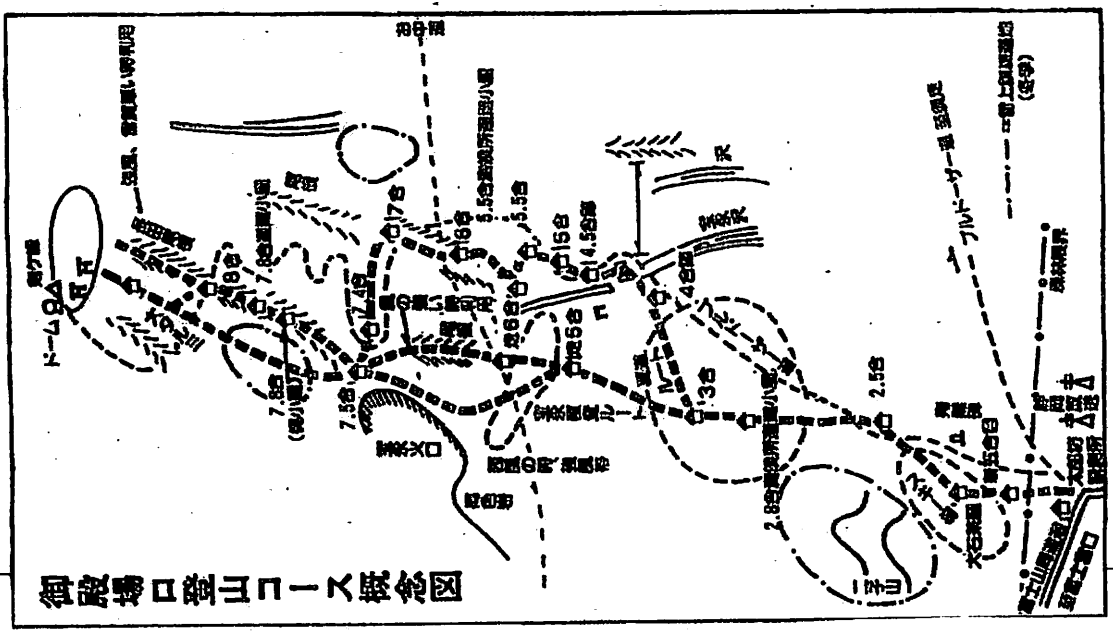
4/25. 新五合 13:30 → 2.5合 14:30-45 → 2.8合 15:15

・この日は宇保と2人で鬼の3しを1升おいて行く。  
阿かとはおいた。

4/26. 2.8合 7:50 → 7.5合 10:15-25. → おぼろ 12:00  
→ 剣ヶ峰 12:45-45 快晴. → 2合目 15:00.

とにかく阿がつよい。酒を沢山飲んでごちけんを下山。

御殿場口は、ほむからおほいまで、鉄のさく道標がすて  
立っていて、ホワイトアウトしてもまよわず下降できるおにになっている。  
ゆえに最もおびておるルートかもしれないが、2月から3月にかけて、  
雪代というバカでかい雪解がおこるので、注意。



# 富士山 part II (富士宮口から)

長谷川哲也, 松岡清司 (碧稜山岳会).

高所順心が目的。

5/13 富士宮口五合目 12:40 霽 雲

→ 八合目小屋 15:00 曇り, ひどい風, 進めない

→ 15:00 ~ 18:00 上部偵察

5/14. 天候悪化のため下山.

11合目 9:00 → 五合目 9:45 雨, 風つよし.

瑞牆山. 吉田(OB) 中嶋(OB) 豊田(OB) 河西

3/13. 十一面岩末端壁, 春くらら, めるルートで人工登攀 エマーリング.

荷上げの練習.

3/14. 前日に同じ 下山

皇冠峰登山隊93' 剣岳集中合宿

記: 長谷川哲也

隊	氏名	住所および電話番号
A隊L	中島正徳	福岡県京都郡河内町11-20三波マテリアルAP827号 ☎ 093-434-4937
A隊M	亀田正人	大阪府寝屋川市末広町3-35富士銀行善里寮 ☎ 0720-31-8322
A隊M	笹森進也	長野県長野市安茂里差出863室荘13号室 ☎ 0262-23-8817
B隊L	徳島和男	愛知県愛知郡日進町東山1-1603 ☎ 05617-3-0410
B隊M	鈴木幹夫	大阪府茨城市耳原3-9-1帝人いばら荘225号 ☎ 0726-40-2305
B隊M	宮坂仁	三重県津市上飯町2-29倉田方 ☎ 0592-25-9912
B隊M	松岡清司	愛知県豊田市土橋町7-51錦荘10号室 ☎ 0565-28-8555
C隊L	酒井秀紀	愛知県刈谷市一里山町北本山51-2 ☎ 0586-36-3329
C隊M	山崎彰人	岐阜県岐阜市鷺山1471-1 ☎ 0582-94-6320
C隊M	夏目正彦	愛知県稲沢市高御堂5-160-3緑マンションB508 ☎ 0587-23-8110
D隊L	阿部哲也	愛知県西尾市米沢町白沢159 ☎ 0563-57-7954
D隊M	有富保之	愛知県名古屋市中区大宮町2-40辰巳荘6 ☎ 052-883-3694
D隊M	中川邦仁	愛知県刈谷市一里山街140-3コーポセピアハウス103 ☎ 0566-36-9336
D隊M	長谷川哲也	長野県松本市岡田松岡4-1光コーポ205 ☎ 0263-46-6122

実動5日

予備3日

1993.5.1~5.8

以上メンバーリスト

中島, 豊田, 宮坂, 有富は欠席可也.

5/1.

室堂 10:35① → 三田平BC. 14:10①  
→ 前剣 15:50-16:10① (前剣ピストン) → 三田平

5/2.

雨のため, 沈黙.

\* 1日の夜から激しい雨。気温高く雪にたふさぐ。

5/3.

三田平BC 8:45発 ◎  
↓  
源治郎尾根取付 ◎ 9:10  
↓  
P2のEIV 13:30~40 ◎

この日は, 尾根, 長谷川(哲)の  
2人11:15-7:45行動

P2 コル

↓  
剣岳 14:25

判が濃く、視界がきかない。ピーク直下で  
ビバーク体制に入る。雪洞をつくる。

↓  
ビバーク

ドローカンにする。下為、

5/4

B.S 7:30 発 ○

↓  
室堂から、セキを切り、たかおのように入りが  
あがってくる。クサリ場(カニの横バイ)で  
大滞になり、時間をロスする。

↓  
前剣 8:45-9:10 ○

↓  
三田平 B.C. 10:00-13:00 ○

↓  
トレーニング (剣沢集団にて)

5/5

三田平 5:55 ○

↓  
室堂 7:30 ○

おしまい。

★ 合宿2日目に激しい雨にやぶ、テント内に侵水し、  
シユウマビもがズグ濡れになってしまった。体じょうが  
濡れて、登高意欲はうせてしまったが、3日目舞合へ入って  
源治郎に行、た。(ルート変更により)  
源治郎は2日かかると思っていたが、条件が良く、  
「サクッ」と抜けてしまった。

★ 源治郎尾根について、  
ほぼガイドブック通り。

ピナクルは雪にうまか。  
ナイフリッジとな、た雪稜と行く。

正峰の登りよりも  
I峰の登りの方が急傾斜で  
こわい。  
おそぞお

I峰への登りは、

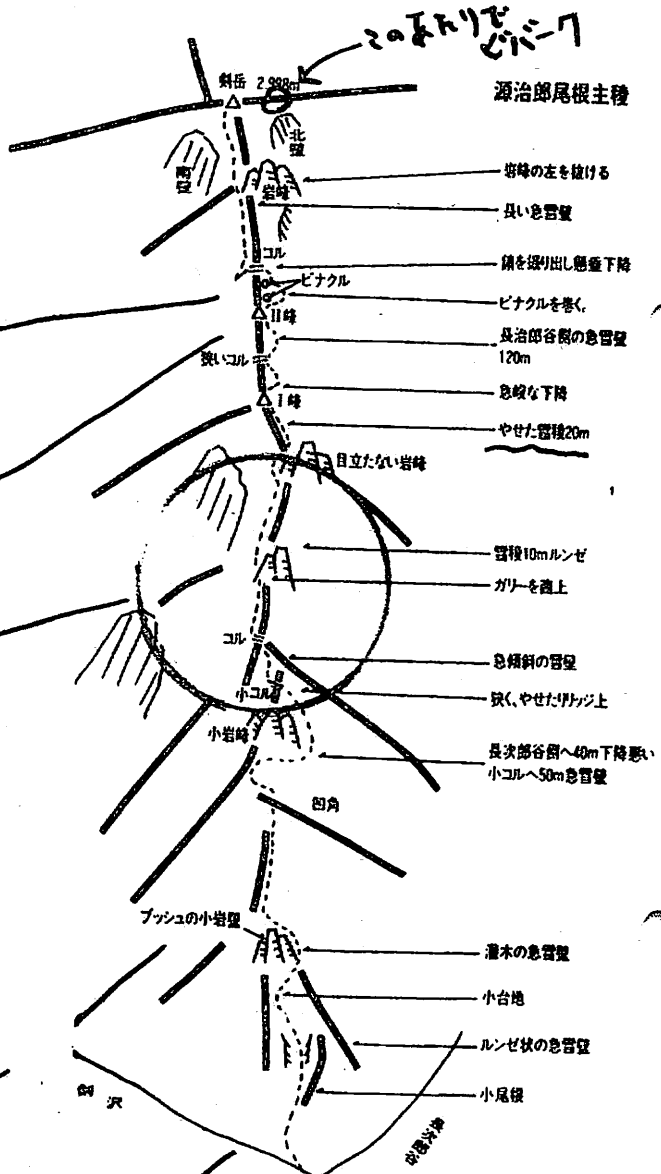
「小コル」からさらに右へ右へ  
稜線に近い方向を目指す。

「コル」は通らない。  
この記述とは少し違う。

ブッシュの小岩壁は、  
右からしか巻けない。

ほぼ  
最末端から取り付くと言っている。

感想 : 条件が悪かった(雪)のため、旧で扱け  
ました。I峰、II峰はやせた雪稜のため、風が吹いていた  
行動するには相当厳しいと思われる。  
下部は急しんな雪壁とあるので、雪崩に注意。



# ゴールデンウィーク合宿

天狗尾根 ~ 鹿島槍 ~ 赤岩尾根

伴野, 高橋, 三木, 博多, 大谷, 松本, 吉沢

5/1 曇り時々小雪 のち 晴

6:10 大谷原 — 7:15 昭電取入口 — 8:00 取付

12:00 1800m 付近 T.S.

13:30 ~ 15:20 雪割

2日, 3日 と 天気が悪そうなので 本日は 1800m 付近とす

5/2 雪 のち 雨

6:40 ~ 8:30 雪割

5/3 小雨 のち 曇

6:00 ~ 7:00 雪割

7:10 T.S — 10:00 昭電取入口 — 11:00 大谷原

ゴールデンウィーク合宿は天気が悪く往路下山  
となり、たが 天気だけに原因があるのではなく、  
雨で登攀意欲もそがれてしまったことも大きい  
と思う。

次は新人合宿だ。一年生の情熱に応えよう。

伴野 達也

そうび反省

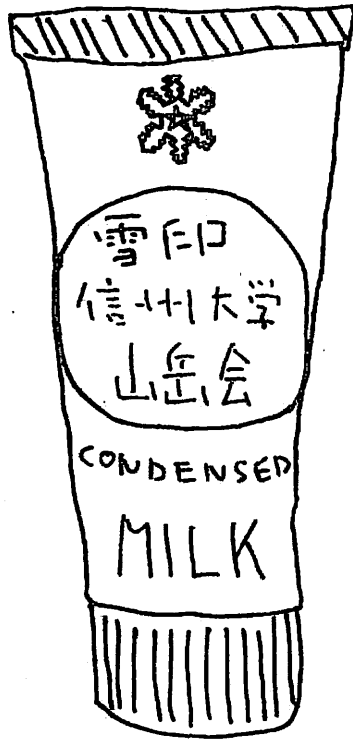
ガス 1200 cc 85.7 cc / 泊人

ローヤク 1/8 本

ヤク 24 本

ヤクはヤク箱を作って エッセンチに置いておいた方がよい。ヤクが少なくて

達也



茶行、印刷 松本

1966